

2025年度 食品衛生外部精度管理調査
一般細菌数測定検査（調査番号 25MC）実施要領

1. 参加検査機関への送付物

- 1) 調査試料：白飯 1 個（約 100 g、冷凍品）
- 2) 送付状 1 枚
- 3) コード番号のお知らせ 1 枚

2. 実施手順

- 1) 調査項目
一般細菌数測定検査（規格試験）・定量スキーム
JIS Q 17043:2011 (ISO/IEC 17043:2010) 認定項目（認定番号 PTP00050）
- 2) 開始期限
調査試料送付から **2 週間以内** に検査を開始してください。
- 3) 検査方法
調査試料は「**加熱後摂取冷凍食品（凍結直前加熱）**」と見立て、貴検査機関の標準作業書（SOP）または通常行っている方法に従って実施してください。
上記内容にて検査が実施できない場合には、貴検査機関で通常行っている別の検査方法で実施してください。
※調査試料は、半解凍状態（室温に 5 分程度置く）で均質操作が可能です。完全に解凍すると粘性が非常に高くなります。
- 4) 検査回数
3 回の検査結果をご報告ください。
- 5) 調査試料の保管
検査終了時まで **冷凍で保管** してください。
- 6) 調査試料の廃棄
貴検査機関の SOP に従って実施してください。

3. 結果報告の手順

検査結果は以下のアドレスよりご報告ください。当財団のホームページにもリンクを設けております。

<https://enquete.cc/q/fdsc25mc>



検査結果回答用パスワード：**送付状をご確認ください。**

※ 検査結果は指数表記とし、小数第3位を四捨五入して小数第2位までご回答ください。

例： 1.10×10^5

単位 (/g) の入力是不要です。指数は累乗記号『 $\wedge$ 』を用いて表してください。

結果を送信後に報告内容を修正したい場合は、もう一度最初から報告をお願いいたします。

最後に報告された内容を採用いたします。

報告期限 2025年8月5日(火)

報告期限を過ぎますと検査結果報告用ページが閉鎖されますのでご注意ください。

4. 結果の公表

1) 結果速報

2025年9月5日 公表予定

当財団のホームページ (<https://www.fpsc.or.jp> トップページ of 外部精度管理 > 最新情報) よりご確認ください。

2) 調査結果報告書

2026年3月10日 発送予定

事前にご提出いただいた参加申込書に従い発送いたします。

5. 注意事項

1) 調査試料に破損、漏れ等の不備がございましたら、至急主催者連絡先までご連絡ください。
調査試料は到着後、速やかに冷凍庫に保管してください。

2) 参加を中止する場合には、ホームページの「お問い合わせ」よりメールにて検査機関名、ご担当者名、コード番号、調査項目および中止する旨をご入力いただき、報告期限までにご連絡ください。

調査試料発送後の参加中止につきましては調査費用が発生いたします。

3) 検査を実施するにあたり、他の参加検査機関との談合およびデータの改ざんは行わないでください。正しい評価結果を得ることができません。談合、改ざんが明らかに認められた場合には、当該結果を解析から除外させていただきます。

6. 主催者連絡先

一般財団法人食品薬品安全センター 秦野研究所

公益事業部 食品衛生外部精度管理調査室 たかさか のりこ 高坂 典子 または なかさか としあき 中阪 聡亮

〒257-8523 神奈川県秦野市落合 729 番地の 5

TEL/FAX 0463-82-4755 (直通)

ホームページ <https://www.fdsc.or.jp>

お問い合わせはホームページの「お問い合わせ」よりご連絡ください。

一般細菌数測定検査 (調査番号 25MC) : 質問内容

検査結果入力フォームでは以下の質問をいたします。システムの仕様上、入力途中の内容を保存することはできません。あらかじめ回答内容をご準備ください。入力内容の確認画面は印刷等により年度末に調査結果報告書が届くまで保管くださいますようお願いいたします。

[Q1] 検査機関の情報 (コード番号、検査機関名、ご担当者 部署・氏名)

[Q2] 一般細菌数測定検査の結果 (検査結果 1~3、単位: /g)
指数表記とし、小数第 3 位を四捨五入して小数第 2 位までご回答ください (例 1.10*10⁵)。

[Q3] 主担当者の一般細菌数測定検査に係わる経験年数 (月数は切り捨て)

- ① 0~1 年 ② 2~4 年 ③ 5~9 年 ④ 10 年以上

[Q4] 検査期間 (調査試料を採取した日、検査が終了した日)

[Q5] 試料採取量

- ① 10 g ② 25 g ③ その他

[Q6] 解凍方法

- ① 解凍せず ② 流水 (水浴) で解凍 ③ 冷蔵庫で解凍 ④ 室温で解凍 ⑤ その他

【 [Q6] で ① 解凍せず 以外を選択した場合 】

[Q7] 解凍時間

- ① 30 分未満 ② 30 分~60 分 ③ 61 分~120 分 ④ 121 分~240 分 ⑤ 241 分以上

[Q8] 使用した希釈液

- ① 生理食塩水 ② ペプトン加生理食塩水 ③ リン酸緩衝生理食塩水 ④ ペプトン食塩緩衝液
⑤ リン酸緩衝希釈水 ⑥ その他

[Q9] 試料液の均質化の処理時間

- ① 30 秒 ② 1 分 ③ 2 分 ④ 3 分 ⑤ その他

[Q10] 使用した培地のタイプ (ペトリフィルム、コンパクトドライ、Easy Plate (Medi・Ca) 等は「③フィルム培地」に含める)

- ① 粉末培地 ② 生培地 ③ フィルム培地 ④ その他

【 [Q10] で ③ フィルム培地 以外を選択した場合 】

[Q11] 使用した培地の種類

- ① 標準寒天培地 ② 普通寒天培地 ③ SCD 寒天培地 ④ その他

【[Q10] で ③ フィルム培地 を選択した場合】

[Q12] 使用した培地

- ① ペトリフィルム ② Easy Plate (Medi・Ca) ③ コンパクトドライ ④ その他

[Q13] 培養装置の設定温度

- ① 35℃ ② その他

[Q14] 培養時間

- ① 24 時間程度 ② 48 時間程度 ③ その他

[Q15] [Q2] の報告値のうち、検査結果 1 を算出した際の操作・計算の過程

(例) A: 検液(調査試料 10 倍希釈液)、B: 調査試料 100 倍希釈、C: 調査試料 1000 倍希釈液
上記の溶液各 1mL を 2 枚のシャーレに混釈し、培養後に B の集落数を用いて以下の通り
算出した。

$$\text{生菌数} = (\text{B の集落数合計値}) / 2 \times 100$$

[Q16] 調査試料の破損の有無 ([Q17] 具体的な破損の状況)

[Q18] 調査試料の送付方法が適切か不適切か ([Q19] 具体的な問題点)

[Q20] 一般細菌数測定検査用調査試料についてのご意見、ご要望

[Q21] その他ご意見

※ 入力内容の確認後に、報告受領確認メールの受信用メールアドレスの入力があります。